

2023年12月20日

香港日本人商工会議所主催 GBA視察ミッションについて

香港事務所長 波多野 直美

1. GBA 視察ミッションへの参加

11月28日、香港日本人商工会議所の大湾区委員会が主催する、「GBA¹視察ミッション」に参加した。GBAは、香港・マカオの2特別行政区と広東省珠江デルタの9都市からなるが、今回の視察で訪れたのは深圳市の一部で、香港からほど近い前海、南山区、福田区である。GBAという広大な地域からするとごく一部の地域ではあるが、視察を通じて得た現況についてレポートしたい。

2. 視察内容

視察団は深圳湾公路大橋を通り、バスで香港から深圳入りした。香港在住の日本人は中国入国にあたりビザが必要となるため、筆者は視察主催者が手配する団体ビザで入国したが、現在はマルチビザが容易に取得できるようである²。

(1) 前海合作区視察

まず訪れたのは深圳市西部海岸の埋め立て地である前海合作区という比較的新しい開発区である³。ここでは前海展示庁や前海国際会議中心（センター）で前海の概況や開発計画などの説明を受け、さらにスタートアップのインキュベーション施設である「前海深港青年夢工場」を見学した。

前海開発計画の特徴は香港との共同プロジェクトである点で、深圳・香港経済一体化推進への取り組みとして、香港と中国をまたぐクロスボーダーの一大国際金融都市をめざすというものである。開発の重点分野は金融業、物流業、情報サービス、科学技術サー



(図1)今回の視察で訪れたのは、赤い破線で囲んだエリア。地図は前海展示庁で筆者撮影。

¹ 正式名称は、Guangdong-Hong Kong-Macao Greater Bay Area（粵港澳大湾区）で、略称 Greater Bay Area (GBA)。中華人民共和国国務院によって制定された、香港（港）・マカオ（澳）・広東省（粵）珠江デルタの9都市（広州、深圳、東莞、惠州、仏山、江門、中山、珠海、肇慶を含む）を統合したグレーターベイエリアをめざす地域発展計画。その総面積は 56,000 km²、2022 年のデータでは、総人口は 8,600 万人を超え、GDP は 13 兆人民元（約 1 兆 8,000 億ドル）以上。

参考ウェブサイト <https://www.bayarea.gov.hk/en/about/overview.html>

² 実際にビザを取得した参加者によると、これまで最初の申請ではシングルビザしか取得できなかったが、現在では最初の申請で 2 年間有効のマルチビザを取得できるとのこと。

³ 2010 年 8 月 26 日、国務院が「深圳前海深港現代サービス業合作区総合開発計画」を承認。

ビスなどで、香港と中国本土との協力の先導区として、また、珠江デルタ地区の産業高度化の牽引区として位置づけられている⁴。

また、前海地区に進出している日系メーカーを訪問し、インタビューすることができた。この日系企業は元々深圳市の中心部にオフィスを構えていたが、上昇するオフィス賃料の問題から、補助金等政府の優遇措置が受けられる前海地区に移転してきたという。ただ、新しい地区で公共交通機関がまだ整備されていないため、通勤困難という理由でスタッフが離職することがあるとのことであった。



(写真1) 2010年と2023年の比較。僅か10数年で高層ビルが立ち並ぶ都市へと変貌を遂げたことが分かる。(前海展示庁で筆者撮影)

(2) 南山区深圳湾創業広場と福田区深圳城市規画館

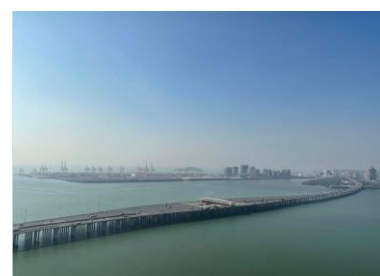
スタートアップ企業支援に関する政府施設で、起業に関するあらゆる相談を受け付ける窓口が設置されているが、その向かいにそびえ立つテンセント本社ビルがひととき印象的であった。

その後訪れた福田区深圳城市規画館は、深圳の歴史について学ぶ施設で、深圳がいかに都市空間としてよくデザインされ、計画的に開発された街かということを示す展示を通じて学ぶことができた。

3. 視察を終えて

現在も大規模開発が進む深圳。その開発の速度は目を見張るものがある。ただ、筆者が普段生活している香港と比較すると、道路も広く、緑豊かで生活しやすい印象を受けたものの、比較的新しく開発された地域を中心に訪れたためか、少し閑散とした印象も受けた。政府が起業を支援し、その企業が成功して地域経済に成長をもたらすといモデルを回し続けるには、既存企業の成長を前提としつつ、都市が才能を引き付ける魅力を備え、テンセントやファーウェイ、DJIのような企業を輩出し続けなければならないという難しさがあると思われる。

深圳の先端企業などにとって日本の製造業は潜在的な顧客であり、また、基礎研究における日本との連携を望む企業もあるという。当事務所としては、今後も引き続き巨大市場・G B Aの動きに注目していきたい。



(写真2) 奥の埋立地がテンセントが開発している新都市「ネットシティ」。テンセント本社含め、関連施設が移転する他、データ AI センター、ホテル等が建設される予定。

⁴ 参考ウェブサイト <http://www.shenzhenoffice.jp/zhongd>